

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスはなその

公表日 2026年03月26日

利用児童

数 16名

回収数 15名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	4			もう少し広さが欲しい	・活動ごとに「使用エリア」を明確化し、同時利用を避ける時間割制を導入しています。 ・静と動の活動を分離し、空間の役割分担しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15					・支援内容に応じた配置基準を明文化し、安定した支援体制を維持しております。 ・職員の専門性向上のために、児童福祉や発達支援に関する研修や地域の福祉活動に参加しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1				室内のバリアフリー化以外にも、活動ごとの準備物を定位置化し、利用しやすい空間を整備しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15					活動後のリセットを徹底し、毎日清掃し安全で清潔な環境を維持しております。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2				支援プログラムに沿って専門性のある関わりを実施し、研修や事例共有を通して支援力を高め、より適切な支援が提供できるよう努めている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15					支援内容を定期的に見直し、支援プログラムと実施内容が一致するよう職員間で共有確認することで質の向上に努めている。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					面談や日常観察を基にアセスメントを行い、児童や保護者のニーズを反映した計画を作成している。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				1	本人支援・家族支援・移行支援の視点を取り入れ、バランスの取れた支援内容を設定している。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					支援計画に基づいた支援が計画通りに実施できているかを確認しながら、必要に応じて柔軟に調整を行っている。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				1	新しい活動の導入や既存活動の見直しを定期的に行い、常に魅力あるプログラムの提供に努めている。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	14				1	地域イベントへの参加を取り入れ、地域の児童館や児童クラブとの交流を通して、他児童との関わりを設けている。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					利用開始時には運営規程や支援内容、費用等について丁寧に説明し、保護者が安心して利用できるよう配慮しております。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					放課後等デイサービス計画を提示しながら、説明時には分かりやすい表現を心がけ、保護者の理解を得た上で同意を取得している。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13			2		今後は短時間やオンライン等の参加しやすい形式を工夫し、研修や情報共有の機会を設けることで、保護者同士が交流しやすい環境づくりに取り組んでまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	15					ご家庭での様子も確認し、連絡帳や送迎時の会話を通して、児童の様子や変化を具体的に伝え、保護者との共通理解を図り安心して利用できる関係づくりに努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15					定期面談を実施し、子育てに関する悩みや課題について助言を行っている。必要に応じて随時相談にも対応し、支援内容へ反映することで継続的な支援につなげている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1				職員間で関わり方を共有し、児童との関わりを重視し、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	2		1		きょうだいも参加できるイベントを取り入れ家庭全体への支援につなげるとともに、短時間やオンライン形式を活用し、保護者が参加しやすい環境づくりを進めてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15					相談体制を整備し、保護者や児童からの相談に迅速かつ適切に対応し、安心して相談できる環境を整えてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2				口頭・連絡帳・ICTを活用し、分かりやすい情報伝達を行ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	2				通信やICTツールを活用し、活動内容や予定を定期的に発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1		個人情報の管理を徹底し、適切な保管と取扱いを行ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			1		各種マニュアルに基づき訓練を実施し、その内容を保護者へ分かりやすく説明することで周知を図り、安心して利用できる環境づくりに配慮している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			1		定期的に避難訓練を実施し、安全行動の確認を行い、訓練後には振り返りを行い改善につなげております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			1		活動前には必ず安全確認を行い事故防止を徹底し、安全確保を最優先にしております。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	14			1		事故発生時には速やかに保護者へ連絡し、状況説明を丁寧に行い、再発防止に向けた検討を行っております
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	1				落ち着ける環境や個別対応を取り入れ、児童が安心して過ごせるよう、特性に応じた関わりを行ってまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	2	1		同じ学年の男の子がいないから	児童の興味に応じた活動を提供し、通所が楽しみになるよう工夫してまいります。また、同年齢の関係が難しい場合は交流機会を意図的に設定してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1				支援の質向上に向けて継続的な改善を行ってまいります。